

日本は真の独立国家なのか!?

～「終わらない〈占領〉」を問う～

4年前の本格的な政権交代で登場した鳩山民主党政権は、普天間基地問題で「国外移転、最低でも県外移転」という当初の画期的な方針を貫くことができませんでした。昨年末に誕生した第二次安倍自民政権は、米国の戦争に協力するための改憲、原発再稼働、消費税増税、TPP参加、オスプレイ配備受け入れ、普天間基地の辺野古「移設」案などを推進しようとしています。このような米国と官僚の言いなりになっている今の日本は、本当に主権国家・民主主義国家と言えるのでしょうか。

このシンポジウムは、今日本が直面しているこの最も重要な問題を「終わらない〈占領〉」という視点から徹底的に論じようという企画です。一人でも多くの市民の皆さま方のご参加をお待ちしています。

PROGRAM

| | |
|------------------------------|---------------------|
| 開会の辞 | 生方 卓 (明治大学教員) |
| 開催趣旨 | 司会者: 木村 朗 (鹿児島大学教員) |
| 祝辞 | 鳩山友紀夫 (元総理) |
| 第1報告: 「終わらない〈占領〉」からの脱却 | 孫崎 享 (元外務省国際情報局長) |
| 第2報告: 二重の〈占領〉と普天間基地“移設”問題の真相 | 川内博史 (前民主党衆院議員) |
| コメンテーター | 高野 孟 (インサイダー編集長) |

日時: 2013年7月6日(土) 午後6時～9時 (開場: 午後5時30分)

会場: 明治大学リバティタワー 地下1階1001号教室

参加費: 500円 (資料代含む)

主催: 平和問題ゼミナール / 社会思想史研究会 (共催)